

## 医療を支える税金

下諏訪町立下諏訪社中学校 3年 池田 來未

私は下垂体機能低下症という病気を持っています。体に必要なホルモンが自分では作れないため、薬に頼って生きています。この薬は、とても高額ですが、私の病気は難病に指定されているため、税金で医療費の多くを負担して頂き、ほんのわずかな自己負担で治療を続けることができています。そのおかげで私は普通の人と同じように成長し、大人と同じ身長になることができました。

また、私が受けた手術も、本来ならとても高額で家族だけでは払うことができないものでした。それに加えて、その手術は世界的にも数か国でしか行われない先進医療でした。もし私が日本ではなく別の国に生まれていたらそもそも手術を受けることもできず、今こうしていられなかつたかもしれません。日本に生まれて、日本の医療を受けられたことは本当に幸せなことで、それを支えている税金に感謝しています。

私は毎月病院に通っていますが、そのたびに先生に診ていただいています。病気のことだけでなく、学校生活や日常生活のことまで気にかけてくださり、安心して過ごせるようにサポートしてくださっています。こうして先生方におせわになるのも、病院の仕組みや医療が税金によって支えられているからだと思います。先生の温かさと医療を守る税金の力に感謝しています。

病気はいつ誰がなるかわかりません。私も突然病気になり、不安でいっぱいでしたが、日本では税金で医療費や、医療制度が支えられているので、安心して治療を受けることができました。更に、日本の医療は税金によって発展してきたからこそ、私の手術のような先進的な治療が行えたのだと思います。

一方で、今の日本は医療費の負担が大きく、日本の財政が苦しいというニュースをよく聞きます。その中で治療を続けられているということは決して当たり前ではなくて、多くの人の支えによって成り立っているんだと思います。だからこそ、私は自分の命を守る薬を無駄にせず、大切に使っていきたいと思います。

税金は、病気と闘う人の命や生活を守り、安心して暮らせる社会を作るために使われています。私はこれからも税金のあり方を忘れずに、できることを考えながら生きて行きたいです。